わんわんパトロール実施に関する調査
結果報告書

令和２年８月

東京都 都民安全推進本部 総合推進部 都民安全推進課

１　調査の目的

東京都では、子供の安全や地域の防犯力の向上のため、ランニングや犬の散歩等の日常生活に子供や地域の見守りの視点を加えてもらう、ながら見守り活動の普及啓発に取り組んでいるところ、わんわんパトロール活動の普及促進に向けた施策検討に役立てるため、わんわんパトロールを実践する犬の飼い主の感想や意見、課題等を把握すべく、アンケート調査を実施した。

２　啓発リーフレットの配布

調査に先立ち、東京都で、わんわんパトロールの普及啓発のための「リーフレット」を作成し、区市町村や自治会・町会、東京都獣医師会所属の動物病院で配布した。

リーフレット

３　調査概要

（１） 調査対象者

東京都作成・提供の「わんわんパトロール用バッグ」を用いてわんわんパトロールを実施した都内在住の犬の飼い主 184 名

（２） 調査期間

令和２年３月 24 日(火)から令和２年３月 31 日(火)まで

（４）調査方法

インターネット、郵送、ファックスによるアンケート調査

わんわんパトロールバッグ

（３） 有効回答数

92 名（50%）

４　調査結果

（１）　アンケート調査の結果

別紙「わんわんパトロールアンケート結果のまとめ」のとおり

（２）上記アンケート調査結果の要点

①　<u>わんわんパトロールは、防犯ボランティア活動の普及促進に有効</u>

・今回のモニター募集をきっかけにわんわんパトロールを開始：**51％**

・町会や防犯団体などの団体に所属していない「無所属」の方：**39％**

・東京都提供のグッズを用いてわんわんパトロールを実施した感想

やりがいを感じた：**79％**
防犯活動に対する関心が高まった：**92％**

②　<u>わんわんパトロールは、子供や地域の見守りに有効</u>

・わんわんパトロールを毎日実施：**73％**

・1日のわんわんパトロール実施時間が1時間以上：**59％**　（1時間未満：**41％**）

・子供の登下校時間帯や下校後の夕方の時間帯の実施率が高い（グラフ参照）

・わんわんパトロールの際に実践したこと、心がけたこと

子供や高齢者の様子をよく見る：**64％**
（特に心がけたことはない：1％）

③　<u>わんわんパトロールの普及啓発に、グッズ提供は有効</u>

・東京都提供のグッズを用いてわんわんパトロールを実施した感想

東京都提供のグッズによりわんわんパトロールへの関心・意欲が高まった：**88％**
（あまり影響ない 11％、全く影響なし1％）

・わんわんパトロールにグッズは重要である：**80％**

（どちらともいえない：13％、あまり重要ではない7％、重要ではない0％）

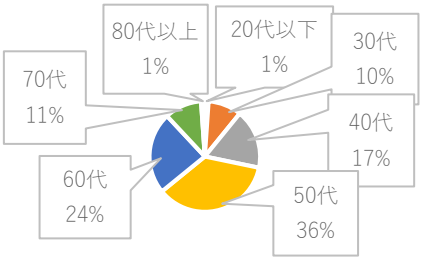
※　調査結果は都民安全推進本部ホームページ、大東京防犯ネットワークにも掲載します。

【問い合わせ先】
都民安全推進本部　総合推進部　都民安全推進課
担当：松井、不破野

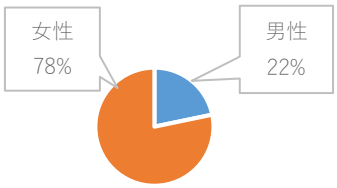
わんわんパトロールアンケート結果のまとめ

アンケート実施　令和2年3月
回答者　92 名

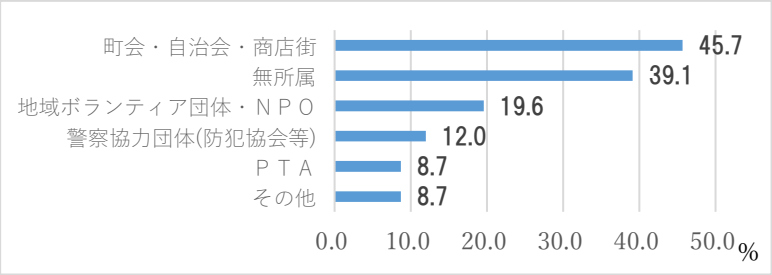
1. あなたの年齢は、次のどちらですか。



2. あなたの性別は次のどちらですか。



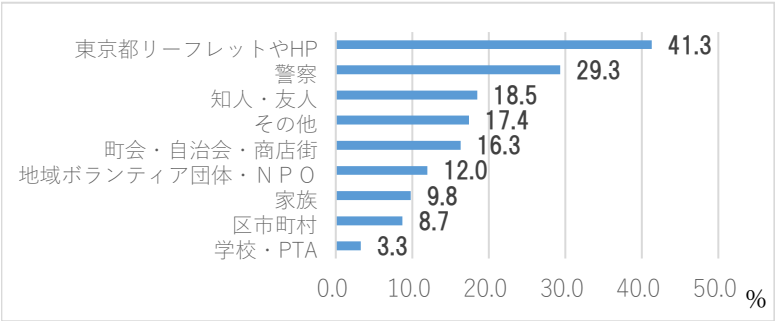
3. あなたは、次の団体・組織のどちらに所属していますか。（主たるもの3つ以内）



その他
・ピーポーズ
・八王子市立ドッグランボランティア
・武蔵野わんわんパトロール
・獣医師会
・消防団・動物愛護協会会員
・民生委員

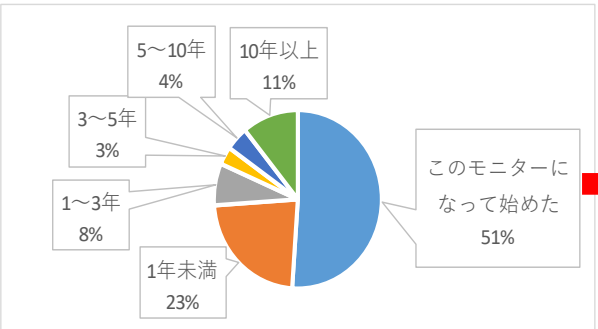
【要点①】いずれの団体にも所属していない「無所属」の方が約 4 割

4. あなたにわんパトを始めるきっかけを与えたものは、次のどちらですか。（主たるもの3つ以内）



その他
・動物病院の紹介 8
・わんパトをしている方を見て 3
・自治会のパンフレット
・犬の散歩中に小学生を追い回す不審者を見かけたから
・武蔵野わんパトの事務局から
・散歩のついでなので手軽そうに思えた

5. あなたのわんパトの実施期間は、次のどちらに該当しますか。

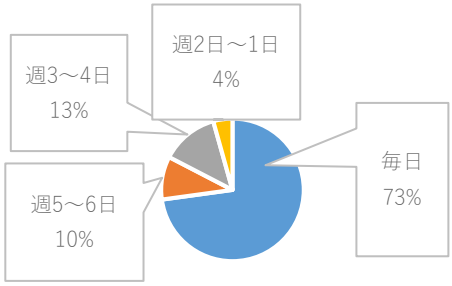


【要点①】

回答者の 51%が、今回の東京都の普及啓発をきっかけにわんわんパトロールを開始

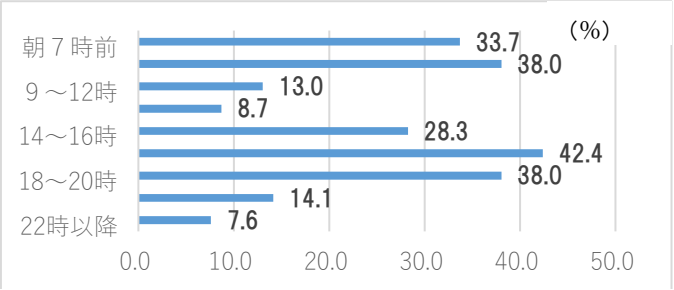
なお、「このモニターになって始めた」51%（47 名）のアンケート結果については、別途抽出して分析を実施。（P6）

6. あなたのわんパトの実施頻度は、次のどちらに該当しますか。



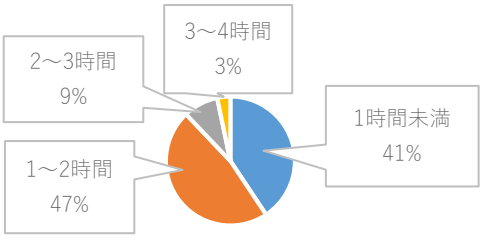
【要点②】
73%の方が毎日実施している。

7. あなたのわんパトの時間帯は、次のどちらに該当しますか。（主たるもの3つ以内）



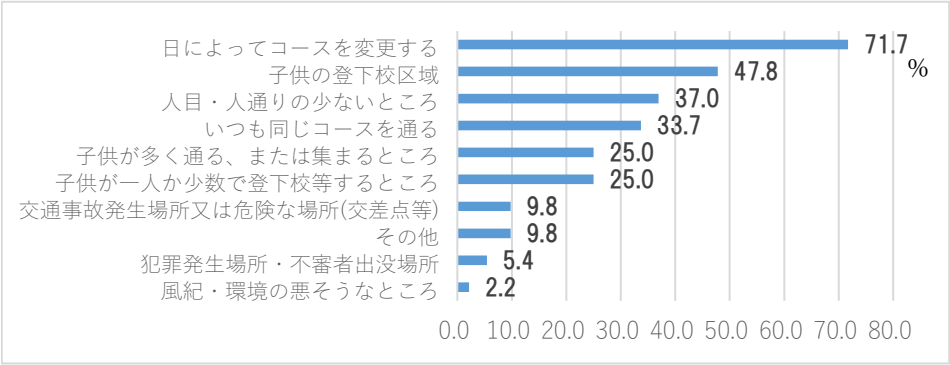
【要点②】
登下校時間や夕方の時間帯の実施率が高い。

8. あなたがわんパトを実施した日の、実施時間は、次のどちらですか。



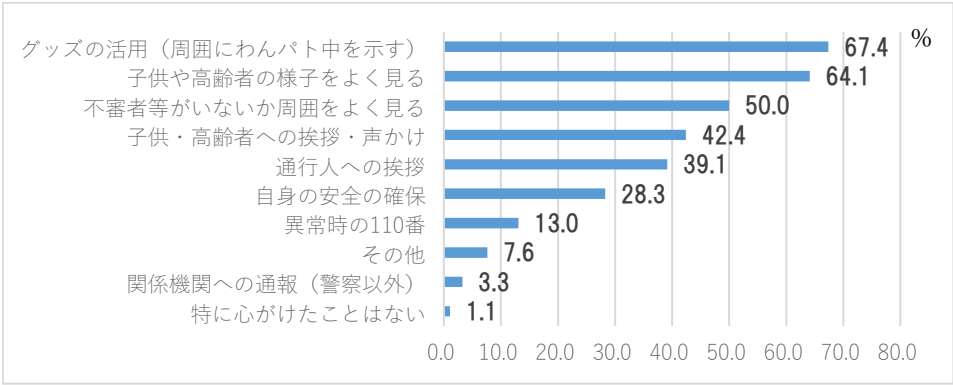
【要点②】
実施時間１時間以上が59%

9. わんパトのコースについて、実際に考慮したことは何ですか。（複数選択可）。



その他
・繁華街
・公園
・子供の遊んでいる時間
・老人が多く通る場所　等

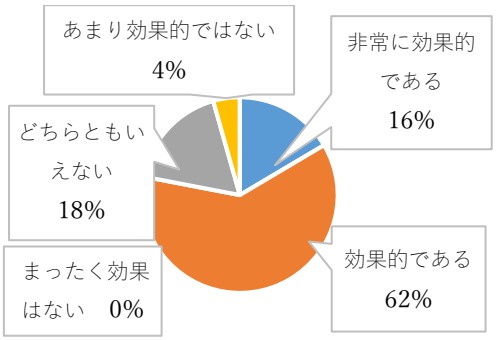
10. わんパトの際に実践したこと、または心がけたことは、次のうちどれですか。（複数選択可）



【要点②】
周囲の観察や挨拶など防犯効果のある行動を実践する方が多い

その他
・夜、街灯が切れていたら市役所に連絡する。
・(地域的に外国人が多いので)交通ルールや道を教える。

11. 皆様に配布したわんパト「リーフレット」は、わんパトの普及啓発に効果があると思いますか。



%

【ご意見・ご感想】

(内容について)

・みまもりぃぬというキャラクターもかわいいし、要点をまとめてあるのもとても良かったと思う。

・ごく自然に意気込むこともなく参加できる雰囲気が感じ取れる。

(配布等の方法について)

・動物病院でリーフレットを見つけたので、良いと思う。

・内容は良いが、置き場所を増やした方がいいと思う。

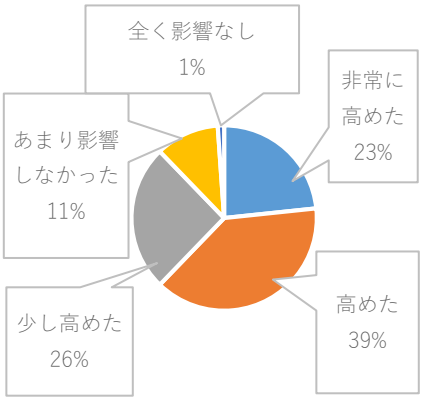
・個人に渡すより掲示板等に貼った方が多くの方の目にとまると思う。

(その他)

・モニター募集は終わったので、それが載っていないリーフレットを作ってほしい。

12. 東京都提供のグッズに対する感想について、該当するものを選択してください。

グッズは、わんパトへの関心・意欲を高めたか



【要点③】
88%が「グッズがわんパトへの関心・意欲を高めた」と回答

【ご意見・ご感想】

(バッグについて)

●利用しやすい。かわいい:9

・散歩で必ず使うバッグなので利用しやすい。

・かわいいし、とても良いと思う。パトロールをやる気になった。

●もっと目立つ色がよい:6

・とてもオシャレなデザインであるが、もう少し目立つ色の方が抑止力になると思う。

・もっと目立つグッズでないと、まわりから全くわからない。

●バッグの絵柄(ロゴ)を反射塗料にしてほしい:2

(グッズによる効果、意識の変化等)

●わんパトグッズを持つことで、見守りの意識が高まった:6

・わんわんパトロールの散歩バッグを持つことで、見守りをしようという意識が高まりまった。

●わんパト活動の PR になる:4

・グッズは目を引いたようで 声をかけられたりしたので、良いと思う。

・子供が興味を持ってくれる。わんパトを知らない人への広告になる。

(その他)

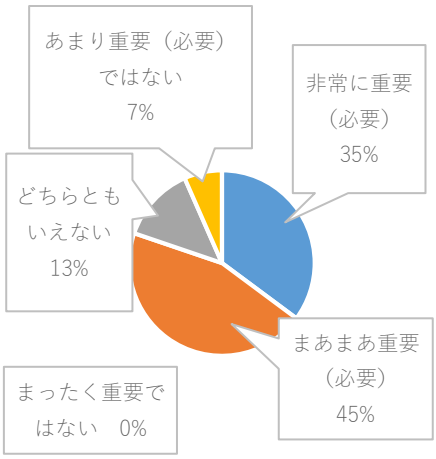
・バックは元々みな持っているとおもうので、必要ない。

・本人の意欲が高まったが、目立たないので、子供に声をかけるのにやはり以前のように躊躇した。

・今回提供されたグッズを持っていれば、声もかけやすく個人でも活動しやすいと感じた。

13. 東京都提供のグッズを用いてわんパトを実施した感想について、該当するものを選択してください。

(1)わんパトにグッズは重要(必要)か



【要点③】
80%が「グッズが重要」と回答

【どのようなグッズがあったらいいと思いますか？】

●もっと目立つ物がよい:16

・もっと世間に知ってもらって、見てわかるグッズなら、ひとりで歩く小学生なども安心できるのでは？

・パトロール活動を行っている事を見せるため、めだつ色の物がいい。

●バッグはショルダー型がよい:5

・わんパトのバックは手持ちではなく、肩掛けだと両手が使えていい。

●犬が身につける物がよい:29

（うち具体的に、バンダナ：11　ベスト：9）

・犬が身につける物があると良い。通行人は飼い主よりも犬を見ている。

・犬が身につけられる物のほうが良い！ドッグランでも話題になる。

●リードにつけるもの:9

・バッグではあまり目立たなかった。リードに直接つけるものはどうか。

●リードやバッグにつけられるチャーム:5

・犬の首輪やリード、バッグに付ける反射板キーホルダーやチャーム

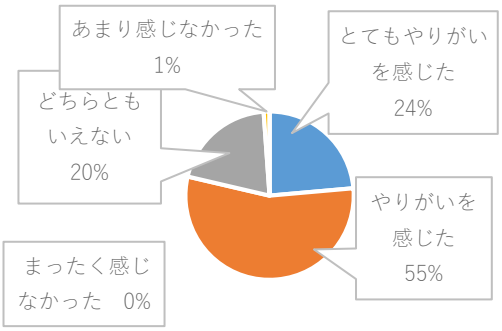
●その他

帽子:3　腕章:3　防犯用の笛:3　防犯ブザー:3
懐中電灯:5　犬用ライト:3

・夜間用の首輪につけるライトなどいいなと思う。

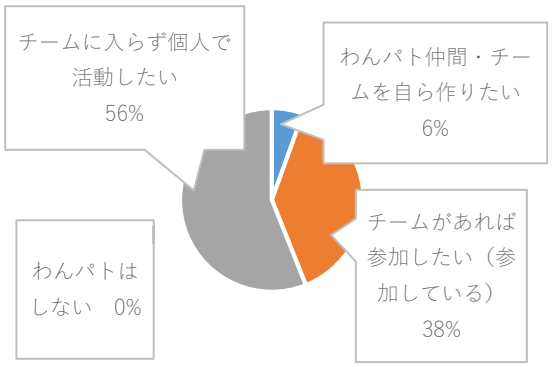
・市町村単位で、ベストか腕章があればよいかも

(2) やりがいを感じたか

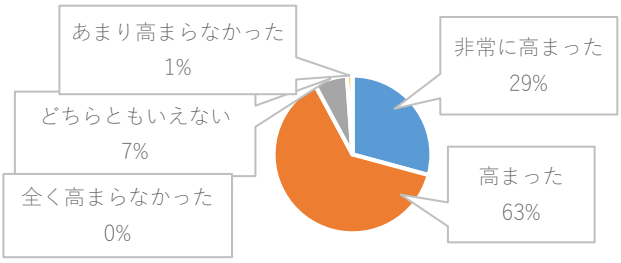


【要点①】
79%が「やりがいを感じた」と回答

(3) どのような形でわんパト活動をしたいか



(4) 防犯活動に対する関心が高まったか



【要点①】
92%が「関心が高まった」と回答

14. わんパト活動をさらに普及させるために、どうしたらよいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

●ポスターを掲示する:12
（うち、動物病院：5　ペットショップ：4　自治会の掲示板：1）
・わんパトの認知度を高めるために、街にわんパトの看板やポスター（チラシ）を掲示する。

●わんパトの活動をもっと PR する:8
（うち、町会・自治会に：2　学校に：2）
・わんパトの活動をもっと積極的に発信する。・ペット飼育者以外へ活動の周知をする。
・学校、町会等にも、わんわんパトロールを通じて地域の見守りを行っていることを知らせる機会を設ける。

●リーフレットの置き場所を増やす:8
（うち、動物病院:4　ペットショップ:5　保健所:3　ドッグカフェ:2　ドッグラン:2　ホームセンターでペットグッズを扱っている所:1）

●犬の登録や狂犬病予防接種の際にリーフレットを渡す:8
・毎年狂犬病予防の時期にハガキが届く(封筒にハガキと案内が入っている)その時一緒に入っていたら、気になるのではないかと思う。
・役所等で、飼犬の登録をする際に案内があれば良いと思う。又は、毎年受ける狂犬病予防接種などで。

●イベントの開催、イベントへの参加:8
・活動を認知してもらえるイベントを、街中や大きな公園など人が集まるところで定期的に行う。
・ペット博やインターペット等にわんパトのブースを出す。地域で開催されているイベントに参加する。
・警察署でイベント（ペット同伴可）を開催したり、このようなキャンペーンで参加（協力）者を募る。

●わんパト活動への支援:8
・定期的にわんパトメンバーでの集まりを開く
・効果的なわんわんパトロールの実施方法や時間などの講習会。　・犬連れ活動のマナー教室
・活動のためのマニュアル　・ボランティア保険の加入
・活動のグッズ費用の補助　・継続的なグッズ等の提供、町会単位への提供

●さらなるグッズ展開、もっと目立つグッズをつくる:7
・わんパトグッズが可愛いので、グッズ展開しつつ認知度を高めていくと良いのではないか。
・わんパトバッグをもっとハデにし、予防接種の際に皆に配るなど、バッグをもっている人の数をもっと増やすようにすればよいのでは。

●テレビ、雑誌、犬飼育者が観覧するサイト等で PR する:5
・TV、新聞、雑誌等で「わんパト」の情報を発信する。
・ツイッター、インスタなどの SNS に発信　・犬飼育者がよく観覧するサイトで発信
・SNS の公式アカウントがあればよい

●モニターの数を増やす:4
・ドッグラン等でのスカウト。　・犬友達への紹介制度や紹介特典など。

15. その他、お気づきの点や、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。

●防犯についての意識が変わった、これからもわんわんパトロールをつづけていきたい：12

・普段は、通行している人や車についてあまり関心がなかったが、わんパトをしている自覚を持つことで、周りに気を配ることができたと思う。これからも、街の安全を見守り続けたい。

・今迄は犬中心で周りに注意していませんでしたが、防犯意識が少し変わりました。頑張ります。

・近所に小中学校があるので、なるべく下校中に散歩をしようと普段の散歩から心掛けていたところに、リーフレットを見て参加しました。グッズを持参したことで さらに意欲と使命感が増しました。

・コロナのせいで外出は自粛しておりますが、犬の散歩は必要なのでその短時間でもしっかりと近所の見回りを心がけ、これからも続けてゆきたいと考えております。

・今回の期間はコロナウイルスの影響で、子供達の行動の様子が平常時とは大分異なっていた。平常時は勿論のこと、街から人通りが少なくなった時だからこそ、しっかり周りを見守り続けたいと思った。

・現在、コロナで外出自粛となり活動はできませんが、犬の散歩をしながらの見守りはとても良いことと思います。地域の安全のため役に立ちたい。

●犯罪の抑止力になると思う：6

・もっと犬の散歩をしている人が普通に参加できるようになるといいのではないか。防犯というよりは抑制の意味で大きいのではないかと思う。

・抑制の意味で大きいと思うので、あまり大袈裟に考えず、地域にそういう目があるというくらいの軽い気持ちでみんなが参加できるようになるといいと思う。

・わんパト活動で一番重要なのは、毎日散歩すること、その時に街を見回ること、防犯パトロール中などの文字を見せることで、犯罪を抑止することが可能だと思う。

●地域の安全や交流になる：5

・愛犬との散歩が、地域の防犯活動のひとつになることができてよかった。

・今は、親から「知らない人と話してはいけない」と注意を受けている子どもたちが多いが、パトロールグッズを身に着けることで、安心して子どもたちと話すことができた。

・活動中に声をかけられることがあった。犬を通して仲間（チーム）ができた。

・毎日の犬の散歩のついでに、パトロール出来るのは一石二鳥だと思う。犬とも、との連携やコミュニケーションにも役立つ。

●もっと PR や連携が必要だと思う：5

・せっかく良い活動なのに認知度が低いのが残念。宣伝アピールがもっと必要だと思う。

・私は動物愛護推進員だが、他の犬関係の部署と連動できるとよいかもしれない。畜犬登録や、しつけ方、動物愛護センター等に、こんな活動をしているお知らせだけでもいいと思う。

●活動の形について：6

・わんパトグループは日々接することができる環境の範囲毎に作った方がよい、町単位くらいが適当。市単位ではちょっと大きいという感じがある。

・集会のような機会があれば出席したい。わんパトチームは犬どうしの相性も体格差もあるので、条件が合えば参加したい。

・私のワンコは、犬や人が苦手で吠えたり噛んだりしてしまうので、個人で活動したい。個人で正式な登録などがあるなら教えてほしい。

・チームを作らずとも、犬の相性を優先に、自然とチームのような情報交換をしながら、地域の安全活動をしている。

・グループでやると負担に感じたり面倒だと思う人もいると思うので、個人で気楽に、しかし目を光らせて行うのが最善だと感じる。

・グループでの活動は、仕事で帰宅時間がまちまちなので、活動しづらくなる。個人のライフサイクルの合う方はグループでの活動もありとすれば良いかと思う。

●その他

・町内会費からリードボーンを貸与してわんわんパトロールを行っている。グッズの費用を補助していただければもっと広めていけると実感している。

・犬の散歩は朝夕ほぼ確実に行くので、登下校に合わせるのはよいが、犬をこわがる子供もいるので、注意が必要だと思う。

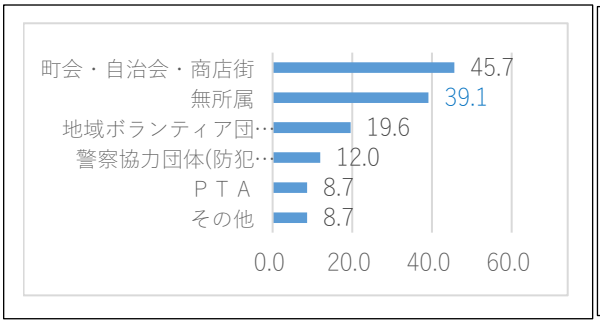
《「全体」と「このモニターになってわんパトを始めた方」の比較》

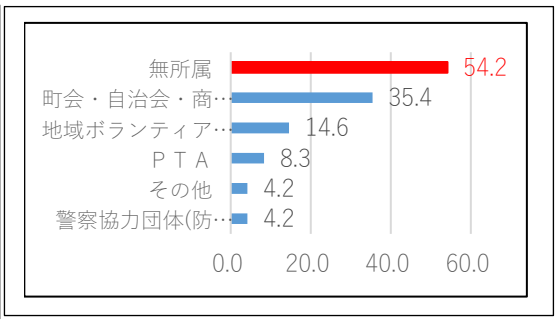
設問３、４に差があらわれた。

【全体　92 名】

【このモニターになってわんパトを始めた方　47 名】

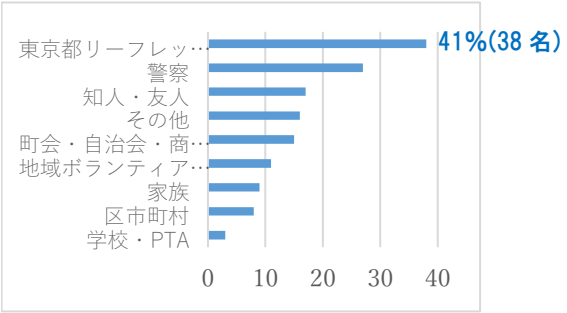
3．あなたは、次の団体・組織のどちらに所属していますか。（主たるもの３つ以内）

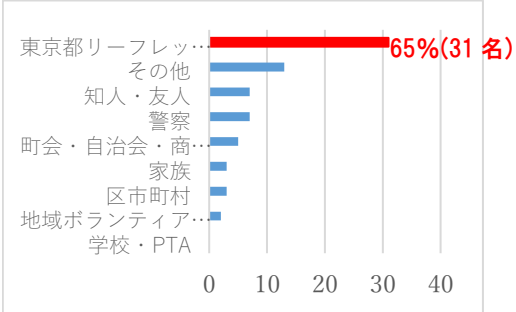




今回始めた方は「無所属」の割合が多い。

4. あなたにわんパトを始めるきっかけを与えたものは、次のどちらですか。（主たるもの3つ以内）





今回始めた方は「東京都のリーフレットや HP を見て」の割合が多い。